

# SDGs 将来世代創造フォーラム2022に参加してみた

～はじめに～

2022年8月24日、吹上ホールでアサヒ飲料が主催する

将来世代の育成と幸福な社会の実現に向けた

「SDGs 将来世代創造フォーラム2022」に参加しました。

約50個設営されていた学校、団体の設置したブースを見学しました！

～取材内容～



まず会場内を見てまわる中で目を引いたのは、左の背の高い植物。

アサヒ飲料の北陸工場で発生した**珈琲カス**を加工したものをたい肥として使っているそうで、会場内には20本も設置してありました！

珈琲カスが、生まれ変わって(?)たい肥になるとは…。驚きです。

通常ならゴミとして処分されてしまうであろう珈琲カスですがこのようにたい肥として活用できるのは本当に素晴らしいことだと思いました。

きっとこの珈琲カスと同じように、ゴミになる前に何かの役に立てるものはまだ存在すると思います。そのような「もったいないゴミたち」を少しでも減らすことが大切です、SDGsの目標12である、「つくる責任つかう責任」の達成にも貢献できるのではないのでしょうか。

次に、衝撃的だった展示を  
紹介します。右の写真は  
FEAST という  
団体が展示していた、  
**未来の給食**  
です。



この未来の給食は  
2050 年、地球の気温が現在から  $4^{\circ}\text{C}$  あがってしまい、日本が海外からの輸入に頼った  
食生活をした場合、日本の給食はどのような変化を遂げているのか予測したものです。  
効率を重視したサプリメントやレトルト、また、アメリカなどで人気な毒々しいほどカ  
ラフルな食べ物が給食になるかもしれないとのこと。ちょっと信じられません。

ブースの担当者の方は、この未来の給食は研究者の中での常識を用いれば予測する事  
は割と簡単なのに、世間一般の人たちにその常識があまり広まっていないと指摘してい  
ました。給食という身近なテーマを使って地球温暖化、それに伴う気候変動、食糧問題



の現状を伝えるこの展示は秀逸で、多くの人が  
理解しやすいものだと思います。

また、左の写真は 2050 年、地球の気温が今  
から  $4^{\circ}\text{C}$  上がって、国内で食料をまかなった場  
合の給食です。バナナがありますが、なんとこ  
のバナナは **京都産**！気候変動の深刻さがう  
かがえます。2050 年、いったい日本はどんな気候になっているのでしょうか…。

こちらのサイトで計 4 種類の未来の給食のパターンを詳しく見ることができます。

[はじめに | 給食 2050 年 \(kyushoku2050.org\)](http://kyushoku2050.org)



フードバンクという活動を紹介しているブースがありました。フードバンクとは安全に食べられるのに包装の破損や過剰在庫、印字ミスなどの理由で、流通に出すことができない食品を企業や個人などから寄贈してもらい、必要としている施設や団体、困窮世帯に無償で提供する取り組みで、食品ロス問題と生活困窮問題をつなぐ活動をしているそうです。NPO が行っており、休日などは高校生も手伝いにくるとブースの方はおっしゃっていました。私はこのフォーラムに参加して初めてフードバンクを知り驚きました。

また、中部 ESD 拠点のブースでクイズに挑戦したのですが、そのなかに日本で相対的貧困状態に置かれている子供の割合を答える問題がありました。わたしは全く分からなかったのですが、こたえは **7 人に 1 人**。こんなにも多いとは思っておらず、とてもショックを受けました。フードバンクの活動の意義をより一層感じました。

～最後に～

私は、SDGs 将来世代創造フォーラム 2022 に参加してみて、とてもいい刺激を受けました。特に学生が出しているブースで、学生さんたちがすごく熱意を持って自分たちの活動を説明するのを聞いて感動しました。そして、それぞれのアクションを起こそうとする姿勢、情熱を目の当たりにして、自分の浅さや物足りなさをひしと感じました。学校生活や家でも自分の考えを行動に移すことのできる機会はたくさんあると思うのでもっと積極的な自分になりたいです。また、前述したような数々の興味深い展示、パネルを見て、様々な知識を得る事が出来ました。この経験を実生活や今後の学習に繋げていきたいです。

H.S.